

『子どもをのぼすアドラーの言葉』

岸見一郎（幻冬舎 2016.10）

アドラー心理学に基づき、子どもをのぼす言葉をまとめた本です。本書のサブタイトルが「子育ての勇気」です。著者は教育の目標を「自立」と考え、親の言葉の重要性を伝えてくれています。

◆自立するために必要な条件

- 1 自分で決められる
- 2 自分の勝ちを決められる
- 3 自己中心性からの脱却

◆子どもに勉強を「させる」働きかけをしている人のリスク

- ・親が忙しくなる
- ・親の期待通りにいい成績を取れない子は、自分を引きつけるために、親が一番困ることをする
- ・子どもの人生に責任を取れない

◆親がイライラしたらどうすればいいか。イライラするのは、子どもに勉強してほしいから。しかし、親がイライラすれば、子どもは親が自分に勉強を強要しようとしていると思って反発するかもしれない。（略）一番簡単なのは、イライラする時には子どもを見ないようにすること。

◆子どもができる貢献は、最初は些細なことかもしれない。それでも自分が他の人に役立てると少しでも思えば、このことは、子どもがやがて直面する人生の課題を解決できるという自信につながっていく。